平成１６年度事務事業評価表

担当	上下水道　部	水道工事　課	内線等	2212

事業ｺｰﾄﾞ		事務事業名	県営水道受水事業
根拠法令等	愛知県水道給水規程		Ａ法令　Ｂ条例　Ｃ規則　Ｄその他（○）　Ｅなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	県営水道を受水し、承認基本給水量を低く抑えかつ承認基本給水量を遵守するため
手　段	日最大受水量を監視し、受水量を調整することにより
想定する成果	超過給水の発生を防ぎ、料金の安定化に努める

③事業の概要

項　目	平成15年度実績　（千円）	平成16年度実績　（千円）	平成17年度計画　（千円）
受　水　費 （日最大受水量）	817,417 (35,686㎥)	784,145 (35,996㎥)	892,998 (36,000㎥)

④成果指標

	①	②
成果指標名	承認基本給水量	受水量率
成果指標の説明	年度別承認基本給水量	最大受水量／承認基本給水量×１００

⑤事業の進捗状況　（　水道企業会計　）　（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	－	－	37,300㎥
	実績	37,300㎥	37,400㎥	－
成果指標②	計画	－	－	96.5%
	実績	95.7%	96.3%	－
事業費	事業費	817,482	784,156	893,009
	人件費	1,217	1,205	1,242
	(人数)	0.15	0.15	0.15
	合計	818,699	785,361	894,251
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	818,699	785,361	894,251

⑥事務事業内容の評価

項　　目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達　成　度	3	3	冷夏・酷暑により受水量の変化が著しく予測できない値である。
経済効率性	3	3	承認基本給水量を下げ、受水費を低減することはある程度可能である。
事務効率性	2	2	毎年７月下旬から８月上旬で日最大受水量が計測されるが、計画的な事務は進められない状況にある。
必　要　性	3	3	安定給水には、不可欠な事業である。
小　　計	11 ／12 満点中	11 ／12 満点中	
市民参加度	1	0	水道事業者として市民参加は少ない事業である
合　　計	12 ／15 満点中	11 ／15 満点中	

※達成度等各項目は、０～３点までの４段階評価

総合評価	A	B	

※総合評価は、Ａ～Ｄまでの４段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成15年度から承認基本水量を40,100m3／日から37,400m3／日に減量し、さらに平成17年度より37,300m3／日に減量し経費節減を図った。

⑧今後改善すべき点

承認基本給水量を37.300m3／日に減量したことによる、水量超過の監視体制の充実のため、平成17年度清田低区配水場にカウンター盤の設置後、流入量コントロール操作する為、浄水場に２時間前に連絡（豊川用水の送水量減量）を取る必要があり体制作りが必要。

⑨平成１８年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成１６年度事務事業評価表

担当	上下水道　部	水道工事　課	内線等	2212

事業ｺｰﾄﾞ		事務事業名	給水装置維持管理事業
根拠法令等			Ａ法令　Ｂ条例　Ｃ規則　Ｄその他　(Ｅなし)

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	給水装置（配水管からメーターまで）について
手　　段	維持管理することにより
想定する成果	安定給水に努める。

③事業の概要

項　　目	平成15年度実績　（千円）	平成16年度実績　（千円）	平成17年度計画　（千円）
修繕料	道路分修繕(37件) 5,109 分水止修繕(62件) 5,071 舗装修繕　(34件) 2,495	道路分修繕(45件) 5,129 分水止修繕(37件) 2,791 舗装修繕　(73件) 2,494	道路分修繕(50件) 5,500 分水止修繕(60件) 5,000 舗装修繕　(75件) 2,500

④成果指標

	①	②
成果指標名	修繕発生率	有収率
成果指標の説明	給水管修繕件数／給水栓数×１００	有収水量／配水量×１００

⑤事業の進捗状況　（　水道企業会計　）　（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	―	―	0.4%
	実績	0.3%	0.3%	―
成果指標②	計画	―	―	94.0%
	実績	95.4%	95.9%	―
事業費	事業費	12,781	10,521	13,097
	人件費	11,769	11,652	10,350
	(人数)	1.45	1.45	1.25
	合計	24,550	22,173	23,447
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,550	22,173	23,447

⑥事務事業内容の評価

項　　目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達　成　度	3	3	維持管理費であり、良好に管理されている
経済効率性	2	2	修繕に係る人員管理をし、コストの低減を図る
事務効率性	2	2	漏水等突発的に発生する事務であり、計画的に事務を進められない状況にある
必　要　性	3	3	安定給水には不可欠な事業である
小　　計	10　／12 満点中	10　／12 満点中	
市民参加度	3	3	道路状況等（漏水・路面状況）の不良箇所の通報により、発見されることが多い
合　　計	13　／15 満点中	13　／15 満点中	

※達成度等各項目は、０～３点までの４段階評価

総合評価	A	A	水道の安定給水の為には、必要な事業である。

※総合評価は、Ａ～Ｄまでの４段階評価

⑦これまでに実施した改善点

別途事業による、本管布設替事業に伴い給水管の更新もあわせて施工し、漏水防止を図っている。また道路分の漏水等に関しては待機指定工事店制度により、市民の苦情に即応できる体制になっている。

⑧今後改善すべき点

夜間・休祝日の職員による待機業務については、外部委託の方向で検討したい。

⑨平成１８年度予算に反映する項目

外部委託に係る業務委託料の積算を加える予定。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成１６年度事務事業評価表

担当	上下水道　部	水道工事　課	内線等	2216

事業ｺｰﾄﾞ		事務事業名	配水管移設事業
根拠法令等			Ａ法令　Ｂ条例　Ｃ規則　Ｄその他　(Ｅなし)

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	他事業者が推進する事業のため
手　　段	支障となる既設水道管を、布設替をすることにより
想定する成果	他事業の促進が図られつつ管路の更新がなされ、漏水防止及び耐震につながる。

③事業の概要

項　　目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
実施件数、延長	１４件　1,515m	２３件　1,112m	８件　965m
移設事業費	44,896千円	43,995千円	31,600千円
管路全体延長	597,076m	600,117m	603,617m

④成果指標

	①	②
成果指標名	更新率	事業費率
成果指標の説明	移設延長／管路全体延長×100	移設事業費／工事請負費×100

⑤事業の進捗状況　（　水道企業会計　）　（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	—	—	0.2%
	実績	0.3%	0.2%	—
成果指標②	計画	—	—	5.0%
	実績	12.4%	10.0%	—
事業費	事業費	44,968	44,069	31,678
	人件費	6,899	6,831	5,796
	(人数)	0.85	0.85	0.70
	合計	51,867	50,900	37,474
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	負担金	42,537	30,094	11,720
	一般財源	9,330	20,806	25,754

⑥事務事業内容の評価

項　　目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達　成　度	3	3	他課依頼の事業計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	工事費及び事務費を負担金収入とし、一部課において配水管の残存価格及び事務費を負担金収入としている。
事務効率性	3	3	他事業及び水道双方の専門的な知識が必要である。
必　要　性	3	3	水道事業としては管路の更新となり、依頼課においては必要な事業である。
小　　計	12 ／12満点中	12 ／12満点中	
市民参加度	1	0	市民参加は少ない事業である。
合　　計	13 ／15満点中	12 ／15満点中	

※達成度等各項目は、０～３点までの４段階評価

総合評価	A	A	市内道路のほとんどは、水道管が網羅されており他事業者が事業促進する為には、支障となる可能性はたかい。

※総合評価は、Ａ～Ｄまでの４段階評価

⑦これまでに実施した改善点

鋳鉄管φ１５０㎜以上の送・配水管については、地震に強く離脱しにくい耐震継手の採用により、地震災害対策に万全を期している。
鋳鉄管のモルタルライニング管から粉体ライニング管に変更し水質の保持と通水時の洗管水量及び現場作業の軽減を図った。

⑧今後改善すべき点

依頼事業者の事業計画が予算作成時と相違があり対応に苦慮している、予算確定時及び補助事業確定時に十分協議する必要あり。

⑨平成１８年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

Ｈ１８、Ｈ１９年度に鉄道高架事業完成に伴い、下水、水道施設の戻し工事が予定されそれに伴う人員の補充が必要となる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成１６年度事務事業評価表

担当	上下水道　部	水道工事　課	内線等	2216

事業ｺｰﾄﾞ		事務事業名	水道事業調査計画事業
根拠法令等			Ａ法令　Ｂ条例　Ｃ規則　Ｄその他　（Ｅなし）

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	水道事業の基本計画の見直し及び水道施設更新事業の
手　段	調査計画業務を委託し
想定する成果	今後の水道事業の促進の資料とするものです。

③事業の概要

項　目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
業務委託件数	１件	１件	２件
委託料	6,615千円	4,935千円	25,000千円
委託事業費	37,140千円	30,680千円	55,730千円

④成果指標

	①	②
成果指標名	事業費割合	水道事業費割合
成果指標の説明	委託料／委託事業費×100	委託料／水道事業費×100

⑤事業の進捗状況　（　水道企業会計　）　（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	―	―	44.9%
	実績	17.8%	16.1%	―
成果指標②	計画	―	―	0.9%
	実績	0.3%	0.2%	―
事業費	事業費	6,687	5,009	25,078
	人件費	8,523	8,438	8,280
	(人数)	1.1	1.1	1.0
	合計	15,210	13,447	33,358
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	受託収益			
	一般財源	15,210	13,447	33,358

⑥事務事業内容の評価

項　　目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達　成　度	3	3	業務委託することにより、事業が進んでいる。
経済効率性	3	3	業務を策定することにより事業の効率性が上がる。
事務効率性	3	3	専門的な知識が必要である。
必　要　性	2	2	全ての業務を委託するのでなく、軽微な事業については職員による設計で対処している。
小　　計	11 ／12 満点中	11 ／12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加は少ない事業である。
合　　計	12 ／15 満点中	12 ／15 満点中	

※達成度等各項目は、０～３点までの４段階評価

総合評価	A	A	高度な技術、専門的知識の必要な案件は専門分野に委託するが、軽微な事業について職員による設計で対処し経費節減を図っていく。

※総合評価は、Ａ～Ｄまでの４段階評価

⑦これまでに実施した改善点

⑧今後改善すべき点

⑨平成１８年度予算に反映する項目

防災施設緊急整備計画策定業務の成果に基づき、施設・管路の耐震化優先順位の高いものを予算計上していく。

⑩組織、人員に関する提言

Ｈ１８、Ｈ１９年度に鉄道高架事業完成に伴い、下水、水道施設の戻し工事が予定されそれに伴う人員の補充が必要となる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載